

---

BLEACH the Free World 2 (仮)

山人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

BLEACH the Free World 2 (仮)

### 【Nコード】

N9347Z

### 【作者名】

山人

### 【あらすじ】

剣木善信（こゝろのせいごう）は、不慮の事故で命を落とした。しかし、定番の神ミス、転生パターンによりブリーチの世界へ転生したのだった。

(この小説はBLEACH the Free Worldのリニューアル版です。前作のようなことにはならないように気を付けますので再びよろしく願います)

(前書き)

どうも山人です。

再始動に関しては活動報告に乗せるのでそちらをご覧ください。

「いって、いったい何が起こったんだ？」

気が付くと、俺は何とも表現しがたい空間にいた。

赤色のような、緑色のような、青色のような、まるで全ての色を「  
つちゃに混ぜた感じだ。

虹色が一番適切かもしれないが、それとも若干違うから表現できない。

「コンニチハ、ダイジョウブデスカ」

「何だお前は!？」

突然だが世の中にはこんなことわざがある。

… 苦あれば楽あり… 楽あれば苦あり…

これは人間の人生を説いたもので人によつては、なるほどなあ、為になるなあなどと思うかもしれない。

しかし、俺の持論ではこれは全くの嘘である。

なぜなら、世の中には生まれたときから死ぬまで金持ちの奴もいれば、その逆も存在する。

貧乏人に確実に楽が来ると言えるのか？

と、ふとこんなことを思うのである。

ほかにもこんなものがある。

…バカと天才は紙一重…

これも全く持つて嘘である。

バカはずっとバカだし、天才は（落ち目はあるかもしれないが）ずっと天才のままだ。

しかし、この世の中にはよく探せばバカっぽい天才もいるかもしれない。

だが、そいつは結局天才なのである。

それに、俺の目から見たらバカっぽい天才なんてのはユーモアが多めにある天才にしか映らない。

と、俺は生まれてこのかた十七年、この二つの持論もって今まで生きてきた。

しかし、その持論の前者は突然あっさりと崩れ去っていくのである。

…ある日の夕方…

「ぐはっ！」

「思い知ったか！もうこんな痛い目に遭いたくなかったら次からはちゃんと金もつとけよ」

「ハハハハハハ！！」「」

「……………」

「じゃあな!」

「ハハハハハハ……」

「やっと行つたか…やれやれ…」

あいつら、いつもいつもカツアゲしてきやがって。

いや、俺が金持っていないと知っててやってるからただのうさ晴らしか？

…まあ、そんなことはどうでもいい。早く家に帰らないと。

と、この時の俺はいつものように家が貧乏だと知っていながらカツアゲしてくる不良の奴らから解放され、やっと家への帰路へ着いていた

「やばいな。これじゃ間に合わないぞ」

俺はその日やたらと急いでいた。

早く家に帰って店の手伝いをしなければいけなかったからだ

「少し近道するか」

そのため、いつもは滅多に通らない路地裏の道を、確認もせず走

り抜けてしまった。  
それが俺の運のつきだった

「ってどうなってんだこれ!!」

これは、俺の生前最後の言葉である。どうしてそうなったのかという

その路地裏はどうやら工事中だったようで、いろいろな機材が置いてあったり、割と多めに人がいた。

そこでまず、俺は路地裏の入り口付近にいた人にぶつかり、その人が持っていたオイルらしきものを

倒して俺自身が滑り、そのまま工事をしていた路地裏のマンホールに落ちた。

マンホールってのは案外危なくて、落ちたら打ち所が悪きゃ普通は死ぬ。

そして、俺は案の定打ち所が悪かったためだんだんと意識が薄れていった。

意識が薄れゆく中、走馬灯やら無我の境地的なものを見ながら死んでいくと思われた

しかし、このあと目が覚めた結果が今の状況である。

目の前にはやたらと神々しい外国人みたいな奴と、異色の空間である。

「一体どうなってるとんだよ…」

(後書き)

約一か月ぶりです。

前作と比べてクオリティなどは何ら変わっておりませんが  
完結までは何とかもってくよつに頑張ります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9347z/>

---

BLEACH the Free World 2（仮）

2011年12月29日08時48分発行